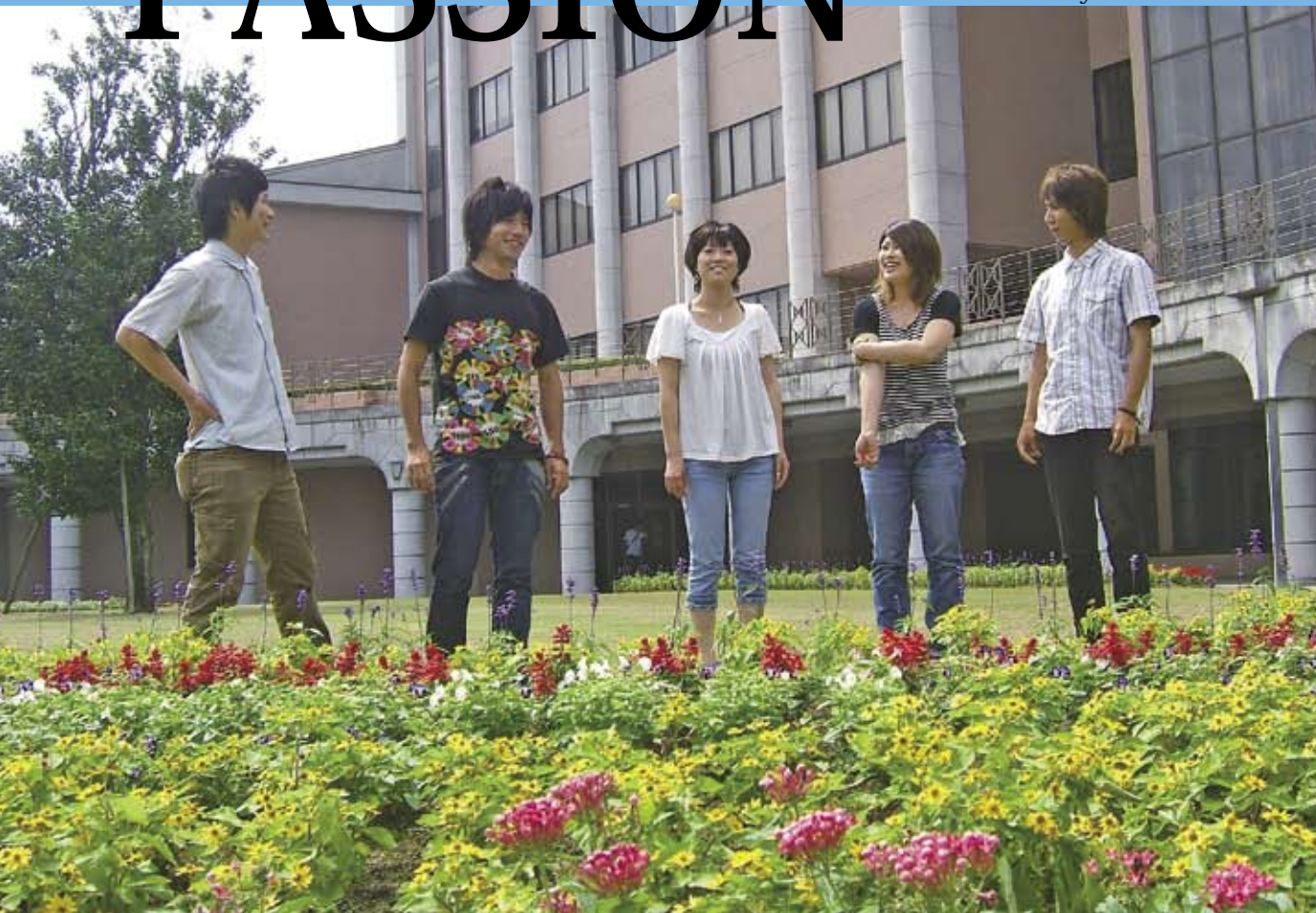


LIBERAL ARTS



2008 July • Vol.3

PASSION



CONTENTS

特集：開放授業

図書情報

入試情報 座談会

部活動・サークル紹介

国際交流 ～ ようこそ公立大へ～

ゼミ拝見

OB・OG 訪問 ～ 図書館司書 小林元気さんに聞く～

特集：日常の生活にスパイスを

～久々に学生気分を味わいませんか？～

『コミュニティ心理学』を受講する学生と社会人受講生



今年4月、平成20年度にスタートした開放授業制度。地域住民の生涯学習の支援が目的で、簡単な手続きで住民が現役の公立大生と一緒に正規の授業を受講できる仕組みだ。前期の授業期間は4月から同年7月までで、今期は、41人の住民が受講した。地域貢献を大学の大きな使命として位置づけている公立大学の新しい試みは、好調のうちに終えた。受講生の2人に話を伺った。

生身の講義を受けたい

黒木さん（元病院関係勤務）。現在、放送大学に通っている。時間を有効活用して積極的に勉強することで、日常生活の中にある疑問を少しずつ解消していこうとする姿勢が印象的だった。どこでこの開放授業を知りましたか。

地域研究センター長で、パソコンサークルでもお世話になっている金子教授に教えていただきました。

参加されようと思ったきっかけは・・・

退職した後、もっと広く社会を見たいと思ったんですね。日々テレビを見ている中で、私たち視聴者が、メディアから一方的に流れてくる情報を受け取るだけで、それに左右されているのではないかと違和感を持ちました。コツコツでも自分なりに勉強して、客観的にモノを見てみたいと思い始めたんです。なので、今回とても良

い機会になったと思っています。

実際に受講されてみてどうですか。

先生は熱心に分かりやすく解説してくださいるので、さすがだなと思います。放送大学のテープを聞いたり画面を見て受ける講義とは違って、この講義は先生と学生とのコミュニケーションが図れるので、生身の授業を受けていると感じました。一番新鮮だったのは、チャイムが始まって終わることです。

出席するにあたってスケジュールの調整はありましたか。

特にありませんが、自由に使える時間が多いので、図書館で放送大学の試験の勉強も出来て毎日が充実しています。その点、開放授業は試験がないので自分のペースで勉強できます。

学生と接する機会は・・・

今日たまたま隣に座っていた学生が中国の留学生だったので、少しお話ししました。最初の授業で隣の学生と一

緒に教科書を見ていた時にも、専門ゼミについての話も聞いたりして、皆さん様々な分野を学ばれてるんだなと思いました。

—では、社会人の受講生同士ではどうですか。

受講生5人のうち女性が3人いらっしゃって、その方々とはお話ししました。一度、学食でお食事もしましたよ。こうやっていろんな方々とお話する機会があつて嬉しいですよ。

—今後また開放授業に参加される予定はありますか。

是非参加したいです。金子教授に後期のプログラムについてもお聞きしたいので、この授業が続く限り通いたいと思つています。1科目5000円で受けられるのも魅力の一つです。こういう地域貢献を大いに利用していきたいです。

—開放授業の良さは何ですか。

社会人にとって気楽に勉強する気持ちを持たせてくれること。若者が勉強する中で自分も一緒に勉強することが刺激になります。生身の授業で、先生と学生との掛け合いで笑うこともあり、そこにも楽しさが湧きますね。

—今後受講を希望される方々へメッセージをお願いします。

セージをお願いします。

そうですね、一緒に勉強しましょうってことですかね。生身の講義を受けながら、若い人々のモノの考え方も知ることができると、自分の興味のある科目を受ける楽しさというものがあります。

—私達も社会人の受講生の方々と一緒に講義に参加することで、刺激を受けています。黒木さんには、生涯学習の大切さを教えていただきました。

(上村麻弥・坂田美樹)

コミュニティデビューは40から

田之上さん(広報・広告戦略コンサルタント)。独立後、昨年2月にフワーアレンジメントなどの教室を開く奥さまと共同で合同会社を設立。現在、多分野における広報活動の手伝いをするディレクターとして活躍中である。

—どこで開放授業を知りましたか。

市の広報か新聞で記事を見て、公立大学のホームページで確認しました。

—参加されようと思ったきっかけは・・・

自分で会社を運営していく上で、どうやったらお客様と最適なコミュニケーション

—シオンがとれるかということについて考えるようになりました。相手へのアプローチの大切さに気付いたりもして。個人的に心理学の本も読んでみましたが、専門的すぎて読むだけでは理解するのが難しかったです。そんなことから、ちょうど誰かの話を聞きながら勉強したいと思つていた時期だったんです。

—実際に受講されてみてどうですか。

実は私が想像していた心理学的なアプローチとは若干ズレがありました。しかし「小さなコミュニティの中での集団心理学」に、今は逆に、おもしろさを感じています。



先生が出される様々な事例に、以前会社に勤めていた頃の境遇を重ねたりもします。勝手ながら週一回のソフトカウンセリングを受けているような感覚で気楽に講義を受けさせてもらっています。今では講義が生活のアクセントになっています。

—受講して何か変わったことはありますか。

今回のインタビュも含めて、人の接点を持てたこと。先日ちょうど妻とも話をしていたところだったんです。自分たちに子供がいたとしたらちょうど同じ世代の若者と講義を受けていることになるねと。

また会社勤めをしていた頃は、毎日があまぐるしく過ぎていたのでうまく処理できないままだった感情を、コミュニティ心理学を通して過去を見つめ直すことで、それらを一つずつ整理するいい機会になりました。人は悩んでいて当たり前、しかしその悩みは必ずどこかで処理できるものだとということと。

—この講座で学んだことを実生活に活かせそうですね。

そうですね。会社という小さなコミュニティから、神宮東(事務所)や

その周りのコミュニティと、今後自分がどうやって関わっていくかを考えるきっかけになれば、と思っています。私のコミュニティデビューは40歳で、といましようか。今後の講義も楽しみにしています。

—今後受講を希望される方々へメッセージをお願いします。

まずは壁を作らず体験することで、何か発見できると思います。地域仲間と学生と一緒に講義を受けることがまた刺激にもなります。自分の子や孫と同じ年代の若者と同じ大学に通う機会も滅多にないことですしね。

—ここから第二の社会人！と意気込む田之上さんの姿勢と周囲の方々に目を開ける氣遣い、とても素敵だと感じました。

(上村麻弥・坂田美樹・志田康行)

コミュニティ心理学担当の

川瀬隆千教授

—開放授業についてどう思われますか。

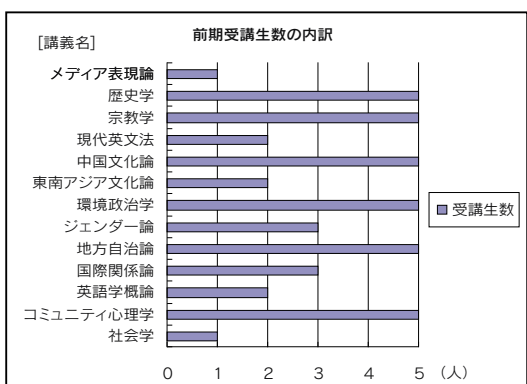
受講生が多く、内容も良いと思います。以前、ゼミ形式で社会人の方を募集し、実際にゼミを行ったことがあり

ましたが、その時は約90人応募があった、その中から15人で開講しました。通常の講義とは違い、その場で熱い議論を交わすことができ、ゼミ終了後も集まっていたみたいです。そういう形式でやっても面白いのではないかと思います。

—社会人受講生にメッセージをお願いします。

私の講義を受講している社会人の方々は、真ん中より後ろに座っているようなので、気を遣わずに、もつと積極的に前の方へ来ていただいても良いと思います。

(上村麻弥・坂田美樹)



地域研究センター長の

金子正光教授

—開放授業の概要を教えてください。

昨年度に本学は法人化され、いったい何が変わったかという点、目玉のひとつはこの開放授業です。開放授業を開いている大学は宮崎では本学が初めてなのですが、本学が開放授業を開ける利点としては、立地条件が挙げられます。本学は宮崎市内でも中心に位置しており、開放授業に参加する社会人の方々が、行き帰りに中心街などを利用することで、本学周辺の経済的効果の反映が見込まれます。また、地域に貢献するという意味でもとてもよい事であると思います。

—実施状況はいかがですか。

平成20年度前期においては、本学の専任教員のみで講義が開放授業の講義内容になっており、一つの講義につき受講生は5人までという定員枠がありました。今回は41人の方々が参加してくれており、社会人、学生それぞれに刺激になっている様子みたいです。

—今後の展開について教えてください。

今後の展開としては、開放授業の開設計目を増やしていく予定になっています。本学の専任教員だけではなく、非常勤の先生の講義も講義内容に含む予定で、さらに多くの方々から目を向けられることになると思います。一つの講義における受講生の定員枠も5人から10人に増やし、最大で約100人の受講生を迎えることが今後の目標です。教職員、学生の協力を願っています。

取材メモ

今後の課題としては、開講までに十分なガイダンスを行い、実際の講義内容とのギャップを埋めることで受講生により選択しやすい環境を提供することを求めたい。地域住民に身近に感じてもらえるような地域に根ざした大学としての位置づけを期待したい。

後期の開放授業の申し込みについては期限が終了したが、全部で20科目の講義が開講される予定である。後期メニューについては、公立大学のホームページで閲覧できる。(宮崎公立大学ホームページ: <http://www.miyazaki-mu.ac.jp/>)

(上村麻弥・坂田美樹・志田康行)

「図書館へ行くこう。」

図書館司書 小林元氣

4月も終わりの月曜日の朝、サイモンとガーファンクルの『4月になれば彼女は』を聴きながら、フレンチトーストとコーヒーだけの簡単な朝食をすませ、僕は9時過ぎに大学へ出かけた。

授業は午後からなので、食堂のいつものテーブルで仲間の顔を探すが、見当たらない。あの子もまだ来ていないみたいだ。散歩しようとも思ったが、

著者登場

阪本博志専任講師



『平凡』の時代

1950年代の大衆娯楽雑誌と若者たち

(A5判 336ページ 昭和堂)

『平凡』—1945年、現在のマガジンハウスより創刊。『歌と映画の娯楽雑誌』として1950年代、当時の若者に最も読まれていた。

外は生憎の雨。

「そうだ、図書館へ行くこう。」

図書館に入るといつもの独特の静寂と、本の匂い。

まずは①新聞を流し読み。書評で伊坂幸太郎が紹介されている。文化人類学の先生も勧めていたし、面白そうだった。早速②館内のパソコンで蔵書検索。あったあった。でももう1冊気になっていたジョン・アーヴィングの『ガー

プの世界』が無いな。そうだ、③学生リクエストで図書館に買ってもらう。学内ホームページから直接リクエ

●著書の概要を教えてください。

『平凡』とラジオ・映画・テレビとの関係性から当時のポピュラー文化の展開を再構成するとともに、編集者・読者へのインタビューを通して若者たちの姿を描きだしています。

●執筆動機をお聞かせください。

戦後の日本に強い影響を与えた雑誌であったことから、『平凡』を、大学院生時代に博士論文のテーマに選び、今回それを本にまとめました。また、1950〜60年代の若い労働者に最も読まれていたこと、大学入学以前から私がマガジンハウスの雑誌を愛読していたことも、きっかけの一つですね。

ストできるらしい。

音楽ビジネスについて調べたいのだが、文献の探し方がよくわからない。

④カウンターにいた司書の方に声をかけ、相談にのってもらった。図書だけでなく学術雑誌の記事の探し方まで教えてくれた。2〜3冊の資料文献を手に入れたので、いざレポート作成。午前中に仕上げる事ができた。

授業後、サークル仲間とコーヒーを飲みながら談笑。夕方から鍋パーティーを開くことになった。あの子も来るらしい。今夜こそ、今夜こそ話し

●読者へのメッセージを。

1950年代に『平凡』を読んでいた方々に、当時に思いをはせてもらいたいことと、その時は何気なく読んでいた雑誌が戦後の日本社会の歴史に深くかかわっているということを感じていただければ幸いです。

かけたい。映画好きで料理が得意なのは調査済みだが僕は両方不案内。

「そうだ、図書館へ行くこう。」

彼女のお気に入り映画をチェック。⑤ディカプリオ主演「ザ・ビーチ」のDVDを借りて館内で視聴。バンコクで出会った男女のバックパッカー達が、誰も知らない伝説のビーチを指す。なんてモラトリアムなんだ。僕たちも同じだ。今度宮崎で自分だけのプライベートビーチを探しに行こう。お、これ完璧な誘い文句じゃないか、なんてぼんやり考えているうちに、映画は終わっている。

次は料理だ。⑥雑誌コーナーで「今日の料理」を熟読。美味しそうなおつまみのレシピをしっかりとメモ。これだ。今夜はぼつちりだ。

西の空は茜色に染まり、気の早い一番星がチラチラと遠慮がちに光を放っている。すべてはメタファーなんだ。何かが始まる予感がする。

※この物語は完全なフィクションですが、図書館は①〜⑥の他にも様々な利用法があります。若い図書館司書3人が君たちを待っています！

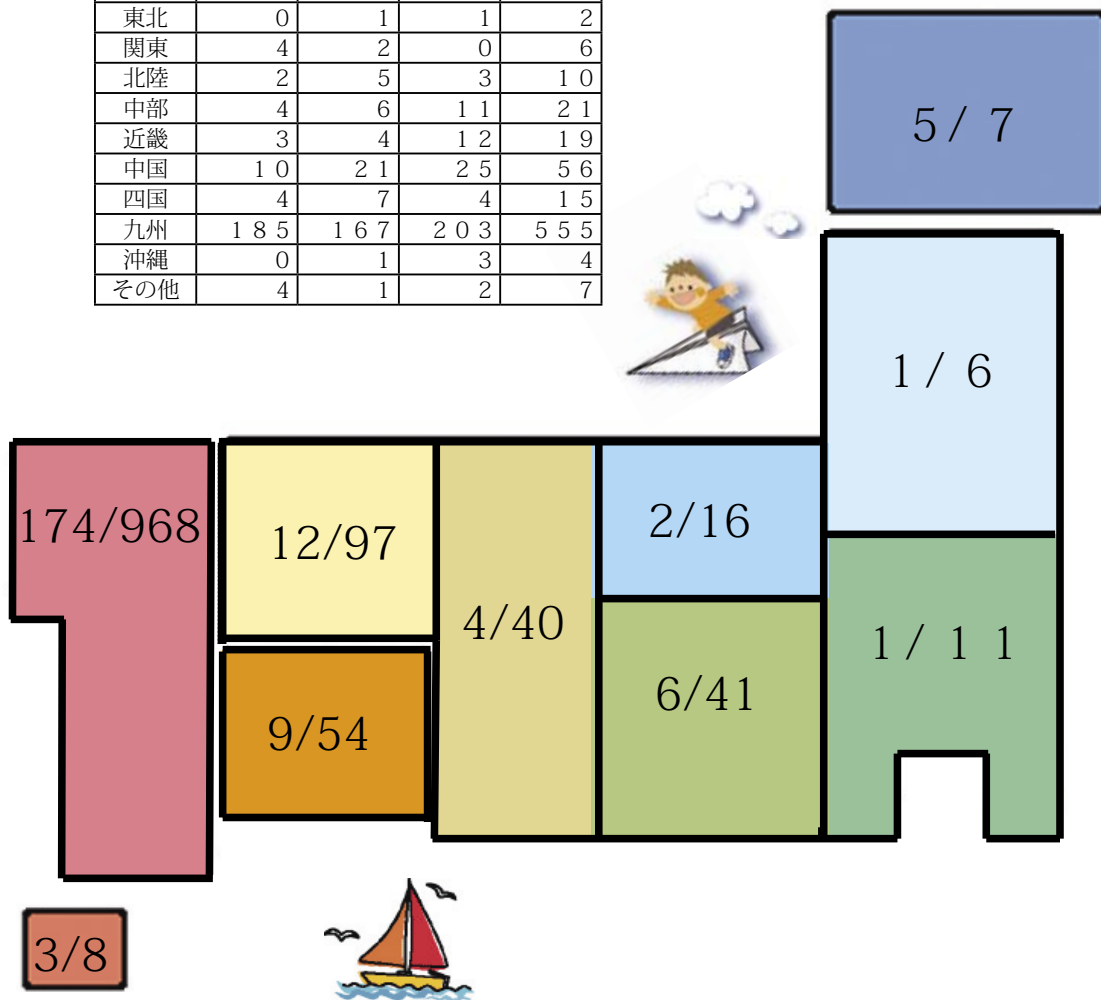


(聞き手 志田康行 原口綾佳)

20年度入学情報

| | 19年度 | 18年度 | 17年度 | 合計 |
|-----|------|------|------|-----|
| 北海道 | 4 | 0 | 0 | 4 |
| 東北 | 0 | 1 | 1 | 2 |
| 関東 | 4 | 2 | 0 | 6 |
| 北陸 | 2 | 5 | 3 | 10 |
| 中部 | 4 | 6 | 11 | 21 |
| 近畿 | 3 | 4 | 12 | 19 |
| 中国 | 10 | 21 | 25 | 56 |
| 四国 | 4 | 7 | 4 | 15 |
| 九州 | 185 | 167 | 203 | 555 |
| 沖縄 | 0 | 1 | 3 | 4 |
| その他 | 4 | 1 | 2 | 7 |

入学者数 / 志願者数



「公立大ってどこ？」という声を聞いたことはないだろうか？県内にいても所在地を知らない人もいる本学。認知度があまり高くない本学には、どの地域からどのくらいの学生が来ているのだろうか…。

それを探るため、本学在学中の学生の出身地を地方別にまとめた。

上の表を見ると、公立大学への入学者数は4年間通してあまり推移が見られないことが分かる。これは、県外に対するアピールがあまりなされておらず、認知度が低いまま維持されているからではないだろうか。

認知度UPのために

現在、長崎県・鹿児島県・沖縄県出身の学生に、メッセンジャーとして母校の先生や生徒に宮崎公立大学を紹介してもらうという活動を大学として行っている。しかし九州周辺に限らず、認知度が低いと思われる東北地方、関東地方など広範囲に広げて行えば、各地方からの受験者数の増加、認知度の向上に繋がるのではないだろうか。

(井上亜沙美・下神千陽)

公立大って…？

キャンパススナッフ

●○スポーツデー MAY 15 ○●

VOLLEY BALL & DODGE BALL

5月15日、毎年恒例のスポーツデーが今年も催されました！！

今年の種目はバレーボールとドッジボール。ゼミ・サークル・友人・先生など、チーム丸となって熱い試合が繰り広げられました。

また、各チームによるTシャツコンテストでは、個性的でユニークなTシャツが盛りだくさん！ みんなこの日のために一生懸命作ったTシャツを得意げに披露していました。

↓さあ、いよいよ試合開始！！
「礼！お願いまーす」



←千アの華やかなダンスで幕開け☆
か・・・かわいい♡



休憩中をパチリ。
とても仲良し☆有馬ゼミの皆さんです←



→Tシャツコンテスト。これは目玉おやじ・・・？
他にも色々なTシャツが勢ぞろい！



ドッジボールの試合風景。歓声が聞こえてきそう↓
途中からボールが二つに・・・逃げろー!!!



マジ!?めっちゃ
ほしい☆

優勝賞品は学食や
居酒屋のお食事券
だったさ!!



↑作戦会議中・・・

「勝ったらご褒美くださいね、先生♡」

「まいったなあ～ 笑」



←スポーツテイの企画・運営や
審判も実行委員のお仕事です
ありがとうございます!

リラックマ
発見!?



←Tシャツコンテストで優勝した竹野さん
かわいらしい耳に注目☆



←お昼ごはん中、おじゃまします☆
腹が減っては戦はできないぞー 笑



MVP
とっちゃった!

↑バレーボールでMVPの辻先生

試合後で少々お疲れ気味・・・?

宮崎をプロモートする

宮崎はどんげね？

外から見た宮崎

内から見た宮崎

東国原知事の就任によって、全国のメディアでもよく取り上げられるようになった「宮崎」。最近では「宮崎ブーム」と名づけられ、PR効果は少しずつ現れてきている。平成19年度の県庁来訪者は50万人を突破し、観光客数も急増したようである。今回広告コミュニケーションセッションでは、県内外の大学生が持つ宮崎イメージの違いについて、アンケート調査を行った。主な質問内容は、宮崎県の特産品・商業施設・観光などに関するものである。

Q、知事の影響は？

宮崎公立大学

- ・良い 88.7% (268人)
- ・どちらでもない 8.3% (25人)
- ・悪い 3% (9人)

関西大学

- ・良い 76.1% (232人)
- ・どちらでもない 21.3% (65人)
- ・悪い 2.6% (8人)

全体の傾向として、東国原知事への印象(また、知事就任後の宮崎への印象)は大学や出身地に関係なくどちらとも高い評価が出ていた。

Q、(九州地図を示して)宮崎の位置はどこか知っていますか？

関西大学

- ・知っている 64.5% (198人)
- ・知らない 34.5% (106人)

(甲斐美幸・児玉伊代)

☆調査対象

宮崎公立大学 302人
(男:71人 女:231人)
(県内出身:134人 県外:168人)
関西大学 307人
(男:100人 女:207人)
(県内出身:2人 県外:305人)

①宮崎は明るい？ 暗い？

| | 明るい | 暗い |
|----|-------------|------------|
| 県内 | 64.7%(88人) | 9.6%(86人) |
| 県外 | 56.9%(266人) | 18.4%(86人) |

宮崎のイメージは明るいか、暗いかを尋ねたもので、若干ではあるが、県内出身者のほうに宮崎をより「明るい」と答える割合が高い。

②宮崎は自然豊か？ 文化的？

| | 自然豊か | 文化的 |
|----|-------------|-----------|
| 県内 | 91.2%(124人) | 2.9%(4人) |
| 県外 | 82.4%(382人) | 8.4%(39人) |

県内・外ともに自然豊かと答える声が高し！しかし、県内出身者が県外出身者よりも「自然豊か」だと答える割合が高かった。

③宮崎は開放的？ 閉鎖的？

| | 開放的 | 閉鎖的 |
|----|-------------|-------------|
| 県内 | 61.7%(84人) | 16.2%(22人) |
| 県外 | 50.4%(235人) | 21.6%(101人) |

宮崎は開放的か閉鎖的かという問いに対して、県内出身者が若干ではあるが、県外出身者より、開放的だと答える学生が多いようだ。

(南慎太郎・十河恵里奈)

広告コミュニケーション
ゼミ・3年



「宮崎＝マンゴー」!

Q1・宮崎の特産品といえは!

| 県内 | 1位 | マンゴー | 36.6% | (112人) |
|----|----|----------|-------|--------|
| | 2位 | 地鶏 | 26.5% | (81人) |
| | 3位 | チキン南蛮 | 12.1% | (37人) |
| 県外 | | | | |
| | 1位 | マンゴー | 43.9% | (111人) |
| | 2位 | 地鶏 | 31.6% | (80人) |
| | 3位 | ピーマン・宮崎牛 | 5.1% | (13人) |

県内・県外ともに、やはりマンゴーは人気の1位!地鶏も知事の宣伝の効果抜群で第2位!意外にもチキン南蛮は宮崎県だけで有名だった。



ショッピング大好き必見!

☆洋服・雑貨を買う場所

| | | | |
|----|--------|-------|--------|
| 1位 | イオン | 52.5% | (156人) |
| 2位 | ボンベルタ橘 | 32.0% | (95人) |
| 3位 | 山形屋 | 1.0% | (3人) |

ボンベルタ橘は、男子の利用率が5.7%、女子が40.1%で、男子の利用率が低い。

☆ギフト・お土産を買う場所

| | | | |
|----|-----|-------|-------|
| 1位 | イオン | 30.0% | (88人) |
| 2位 | 山形屋 | 28.3% | (83人) |
| 3位 | その他 | 22.9% | (67人) |

女子は31.1%で山形屋が一番多いのに対して、男子は30.0%でイオンが一番多い。

今回実施したアンケート調査を基に、山形屋・ボンベルタ橘・イオンの利用客のタイプを分類した。
(山元くみこ・落合裕美)

Q2・マンゴー食べたことある?

| | | |
|--------|-------|--------|
| ある: 県内 | 34.3% | (105人) |
| 県外 | 6.9% | (21人) |

県内外の皆さん、マンゴーのことは知っていても、実際に食べたことのある人は少ないよう。知事効果も手伝って、より高価なフルーツになった宮崎完熟マンゴー。手軽に食べたいけど、学生にはなかなか手が出せないみたい。(涙)

Q3・「太陽のタマゴ」知ってる?

| | | |
|-----------|-------|--------|
| 知っている: 県内 | 86.3% | (264人) |
| 県外 | 49.7% | (151人) |

県内では有名なマンゴーブランド「太陽のタマゴ」。意外や意外、県外では認知度約半数…。マンゴーは知っていても、ブランド認知まではあと一歩のよう。(中尾哲太郎・片木山なつき)

あなたは山形屋派? ボンベルタ橘派?

それともイオン派?

イオン派

- ・女性多、男性多
- ・いろいろみたいよくばり派
- ・洋服雑貨、お土産、プレゼントを買うため

山形屋派

- ・女性多、男性少
- ・セレブ、高級志向
- ・お土産、プレゼント(高級な商品)を買うため

ボンベルタ橘派

- ・女性多、男性少
- ・ファッション敏感派
- ・洋服、ファッション雑貨を買うため



ボンベルタ橘西館・2階

部活・サークル訪問
第3弾
美術部

- 部員数 20人
- 活動日 部会を不定期に行い、個人が活動したいときに集まっている。
- 活動場所 部室
最近ではエコバッグの新デザインの話し合いを中心に、展示会なども行っている。また製作のための合宿も行うという。

→学校のイメージをもとにデザインを考えるのは難しいけど、それにこだわりすぎずに学生の自由な発想をどんどん出していけたら・・・と話してくれた部長の仲道奈央さん（3年）



←昼休みを利用して部室に集合し、それぞれ考えてきた図案を発表し合う・・・
第1弾の作品を超えるデザインにしようと、会議にも熱が入ります。

↓何度も会議をして改良を重ねて現在までに完成したエコバッグ。デザインだけでなく生地や形にも工夫が見られます。

最近何かと話題の「エコバッグ」。各地でマイバッグ運動が起こるなど、需要も注目度も年々増えています。
そんな中、大学が発案したエコバッグ作りに美術部が参加し、現在までに第1弾として3パターンが完成。デザインの良さだけでなく、生地も丈夫で、実際に大変使いやすい仕様になりました。この取り組みは学生の環境問題への高い関心が注目され、県内のテレビ局の取材も受けました。
学生が主体となり製作したエコバッグの使用を勧めることで、環境問題をより身近に感じてもらおうことが期待されています。（鹿屋美貴）



Here is your key to the world

エコバッグを持つことが地球の環境を守る鍵になるということ、また公立大の学生がその鍵を持っているということをコンセプトに、美術部の学生が大学を代表してエコバッグ作りに取り組んでいます。



Here is your key to the world
Here is your key to the world
Here is your key to the world

国際交流

ようこそ公立大へ

6月2日、韓国の蔚山大学から20名が1か月間の滞在予定で宮崎公立大学に到着した。

学内では、日本語授業の他、茶道教室や華道教室、学外では、関之尾でのキャンプや都市の歴史資料館の訪問、週末には学生ホームステイも行われた。

最終日の日本語弁論大会では、それぞれのテーマで弁論を行い、東国原知事県政や、17名が死傷した秋葉原事件の報道など、タイムリーな話題で発表した。みんな大変流暢な日本語で、身振り手振りを交えたり、一人二役を演じたり、表現豊かな弁論だった。



日本や宮崎をよく観察しており私達が彼らの弁論を聞いて考えさせられることも多々あった。

公立大に到着

Q 宮崎公立大に到着しての心境は？

— 街がとても綺麗だと思いました。人もみんな親切で、これからどんな楽しい事が起こるか楽しみです。しています。

Q 滞在中にどんな事をしてみたいですか？

— 日本語を勉強するのももちろんですが、宮崎の美味しいものを食べたり、有名な所へ行ったり、日本の文化も体感して学びたいと思います。

ゴミ出し説明会

Q 韓国でのゴミの出し方は？

— 韓国では、生ゴミとリサイクルできるゴミだけを分別します。日本は細かく分類が決まっています。驚きました。しっかりと分別するのは難しそうです。

Q 何のためにゴミの分別が必要だと思いますか？

— やっぱ環境を守っていくためにも、細かいゴミの分別は必要だと思います。

茶道教室

Q 茶道教室の感想はいかがでしたか？

— お茶もお菓子もとても美味しかったです。慣れない正座はちよつと大変でしたがすごく楽しかったです。



正座をしてお茶が出されるのを待っています。しばらくすると足がしびれてくる人が続出・・・

弁論大会

Q 弁論の準備にはどのくらいかかりましたか？

— 大会前の4日間で原稿を書いたり発表の予行練習をしました。

Q 練習した成果が発揮できましたか？

— 緊張してしまって、実力が出し切れませんでした。でも、言いたいことがみんなに伝えられたので、ホッとしました。

Q 宮崎に滞在した1か月間で最も印象に残っていることはなんですか？

— 大学の行事が楽しかったので印象に残っています。それから、パートナーの友人とも色んな話ができ、交流の輪を深めることができて楽しかったです。

— 韓国では自転車に乗るとい習慣があまりありません。日本では自転車の移動が多いことに少し驚きました。

— 弁論大会では、東国原知事の話を話して最優秀賞をいただいた事が一番印象に残っています。

Q 1か月間宮崎で過ごしてどうでしたか？

— 大学で勉強したり、バスで都城まで行ったり、とても楽しかったです。時間がとても早く過ぎました。



宮崎最後の夜にパートナーやホストファミリーと食事会

(井上亜沙美・犬淵絵梨華)

ゼミ拝見

ニコルゼミ〈アメリカ文化論〉

とにかく仲良し。一人ひとりの好奇心が強いから次々に新しい疑問や話題が生まれてきます。私達の意欲をうまくかき立たせてくれるニコル先生の指導のもと、自主的に学ぶことの楽しさを知りました。

〜ゼミ生に聞きました〜

―ゼミでどんなことをしていますか？

アメリカ人作家が書いた文献から、アメリカの文化や歴史を探るだけでなく、欧州や日本とも比較します。そこから気になる内容トピックを見つけ、ライティング・リーディングを基に議論しています。

―その他の取り組みはありますか？

プリゼミを開き、ゼミで行うペアワークの打ち合わせをする中で、評価や指摘をし合っています。

―皆さん勉強熱心ですね。

私達が自主的に活動しているとニコル先生も応援してくれるので、自然とそういうスタイルになりました。

―ニコル先生はどんな方ですか？

とても気さくで、様々な分野に関し

て知識が豊富です。宮崎に長年住まわれているので、時折宮崎弁を折り込まれることもあります（笑）。

―このゼミに入って英語の力はつきましたか？

先生がアメリカ人なのでリスニング力は確実につきますが、スピーキング力は積極的に会話に参加することで少しずつ身に着くと思います。英語をツールとしてその先に何をするかを見つけていることが、このゼミで大事なことだと感じています。

楽しい雰囲気の中にも、メリハリのあるニコルゼミ。自主的に行動すれば、その分先生が応援してくれる良い環境で、生き生きと勉強する姿が印象的だった。



東ゼミ〈文化人類学〉

3年目を迎えた若いゼミです。そんな若いゼミだからこそ、無限の可能性を秘め、日々成長していける場所なのです（笑）。ゼミ生はみなそれぞれの意思をしっかりと持ち、毎回楽しくゼミを行っています。

〜ゼミ生に聞きました〜

―ゼミ生の夏休みの予定は？

2年後期からフィールドワーク（※）に取り組んでいたのですが、夏休みにはそれぞれの研究対象であるフィールドに調査しに行く予定です。

―行先は？

フィリピン・タイ・韓国・スペインなど行先は様々です。現地の人々と生活を共にし、行事にも積極的に参加してみたいです！そこから調査や研究を深められればと思っています。

―その他の取り組みはありますか？

春休みにはゼミ生揃っての調査実習があります。今年の2月は、沖縄で実際にその土地の歴史・文化・音楽に触れてきました。また、週一回はゼミ生が集まって、ごはんを食べたり飲み会を開いたりしています。ゼミだけでなくプライベートでも付き合える仲って

いいですよ。東先生の人柄もとても良く、知識が豊富なので一緒に飲めば何か分かります（笑）。

夏休みのフィールドワークに向けて大詰めを迎えようとしている東ゼミ。熱心に意見交換を行っていた。事前研究やゼミ内での議論を重ねて、夏に向けての準備や知識を深めているようだ。彼らの研究はまだ始まったばかりだ。

※フィールドワーク・・・現地で行う調査・研究のこと。

（上村麻弥・坂田美樹）



▲担当の東専任講師

キャリア

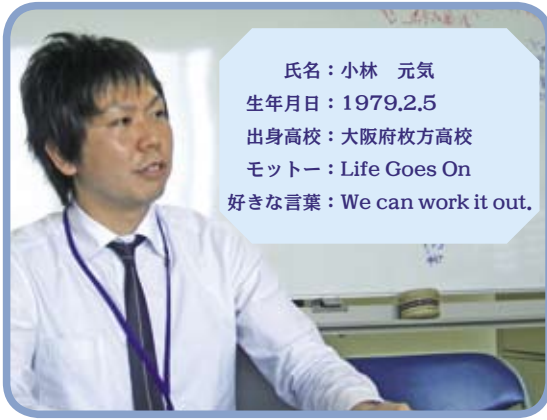
SOB・OG訪問

今年4月から図書館司書として勤務
されている小林元気さん29歳。

本学卒業後、高校教員や予備校講師を
経た後に本職に至る。

1、教員から現在の職業に就くこと
を選んだ理由を教えてください。

宮崎で教員を経験しましたが、関西
に戻って教員を続けるか、公立大の図
書館司書として働くのかホントに悩み
ました。でも新しいことをやってみた



いと思っし、母校を選んでくれたのだ
からという気持ちが大きかったからです
ね。

2、卒業した大学で働いて3か月余
り、ご自分の頃と今の学生の違いなど、
何か気がついたことはありますか？

私が学生の頃は何に対しても「議論
ありき」でしたが、今の学生にはあま
り見られないなという印象を受けまし
た。仕事面では先生方と同僚という立
場になり、先生方の苦労などがよく見
えるようになりました。

3、在学中に一番頑張っていたこと、
逆にやってあげばよかったと思うこと
は何ですか？



個人的に社会学の勉強を頑張ったと
思います。それ以外では音楽活動です
ね。バンド仲間と共同生活をしたり、
曲と詞を書いてCDを制作したりライ
ブをしたりと全力の青春でした(笑)
やってあげばよかったのは英語の勉強
です。

4、仕事をしている中で、喜び・や
りがいを感じるのとはどんな時ですか？

本を貸すだけでなく、本のプロとし
て能動的に情報を発信することで、学
生が本に興味をもってくれたときにや
りがいを感じます。こんなふうに学生
と直接関われるのはやっぱり楽しいで
すね。



▲司書の方々の工夫が詰まった【RECOMMENDED SHELF】

5、最後に学生へのメッセージをお
願いします。

読書で得た知識を、他者との関わり
の中で生きた知識にしてください。そ
のためには勉強だけでなく、たくさん
遊んで恋愛することも必要かと思いま
す。10万冊の価値観が眠る図書館で
君たちを待っています。

ハキハキと持論を語る姿は「公立大
の頼れるお兄さん」。今後変化を続
ける図書館から目が離せません！

(鹿屋美貴・下神千陽)

PASSION 編集部



～後期大学暦～

10月

後期授業開始

1月

センター試験
卒論提出期限

3月

卒業式
入試（後期）

11月

凌雲祭
入試（推薦）

2月

入試（前期）

PASSION

宮崎公立大学広報誌 Vol.3

発行日 平成20年7月

発行 宮崎公立大学

発行者 内藤泰夫

編集者 ジャーナリズム論ゼミ

(犬淵絵梨華 井上亜沙美 鹿屋美貴 上村麻弥

坂田美樹 志田康行 下神千陽 原口綾佳)

住所 〒880-8520 宮崎市船塚 1-1-2

電話 0985-20-2000

URL <http://www.miyazaki-mu.ac.jp> ©宮崎公立大学

編集後記

犬淵：みんなで協力して無事作り上げることができました。

井上：取材のコツが掴めてきて楽しくやれました。

鹿屋：写真中心の構成になっています。楽しんでご覧下さい！

上村：協力してくださったみなさんに感謝！！

坂田：インタビューの難しさを改めて感じました。

志田：慣れないなりにやってみました。是非一読を！

下神：学会発表と並行しての作成。お疲れ様でした！

原口：ビジュアル的にもバージョンアップ！楽しかった！！

Special Thanks !!